

医師・看護師・介護職員の大幅増員を 日本医労連増員闘争ニュース

第211号
2014年12月10日
日本医労連
増員・夜勤改善闘争本部
TEL:03-3875-5871

静岡で意見書採択される

静岡県の三島市において、看護職員の勤務の改善を求める意見書が11月の定例会において全議員賛成のもと可決されました。意見書では「厚生労働省が平成22年に策定した『第7次看護職員需給見通し』によると、平成27年における看護職員不足者数は全国で14,900人、静岡だけでも861人が不足。高齢化が進むことで医療需要の増大はもとより、医療の高度化やニーズが多様化するなか看護職員を確保するためには、定着促進をはじめ、人材養成、再就業支援などの取り組みをこれまで以上に進めていく必要がある」としています。

特に夜勤を含む交替制勤務による厳しい勤務環境は、看護職員の慢性的な疲労につながり、安全性の面からも問題があることから、勤務環境の改善は急務の課題です。看護師等の勤務環境の改善なくして持続可能な体制や安全・安心の医療確保は望めないとしているものの、いまだ抜本的改善は図られていません。そのような中で今回の採択は大きな前進です。また千葉の流山市、愛知の犬山市でも採択され、全体で70の市町村にまで増えました。



来年3月までに50万筆を目指して！



署名でみんなの声を届けよう！

夜勤改善・大幅増員の署名集約も今年も大詰めです。現在までの集約署名ランキングトップ5を紹介します！（集約数%別）

- 第1位 愛媛 25.3%
- 第2位 岡山 25.0%
- 第3位 茨城 21.9%
- 第4位 大分 18.5%
- 第5位 香川 17.0%

12月8日現在、11万3557筆の署名があつまっています。来年2月、3月には提出します。

引き続き各県からの署名集約を本部までお寄せ下さい！